

一般質問



議会中継アクセス
QRコード



6月12日(一般質問)

一般質問は議員が市の行財政運営やまちの将来展望について質問し、行政機能をチェックするために行われるものです。

第2回定例会では12名の議員が、市の取り組みや施策の進捗状況について質問を行いました。質問内容は6～11ページに要約を掲載しています。なお、今回の一般質問は新型コロナウイルス感染症防止対策により、扉を開放し議席の間隔を空けて、発言席や出席者の調整などを図り進行されました。

詳細は市のホームページや図書館でも閲覧いただけます。



市民と歩む会 柏野 大介 議員

「新しい生活様式」を踏まえた地域ガイドラインの策定について

問 「新しい生活様式」のもとで、社会教育や市民活動、スポーツ等を推進するには、一律の禁止ではなく、地域に対応したガイドラインが必要だと思えますが、ご所見を伺います。

答 公共施設の利用再開に当たっては、北海道や近隣市の動向、各施設や業種ごとに示されているガイドラインを参考に、本市の施設の利用状況などの特性を考慮した上で、施設ごとに利用条件等を定めています。

問 業種別のガイドラインを参考にとのことですが、ガイドラインで必ずしも一律で禁止になっていないような取り組みや活動（例えばプールや合唱等）についても現状では、公共施設の中では制限されている状況ですが、この経過について伺います。

答 市ではガイドラインを参考に施設利用に当たっては、感染防止対策を講じて段階的に広げたいと考えています。また施設の特性に応じた対策として、団体利用や専用利用の基

準・制限等それぞれの施設で対応しているところです。

問 事業者は感染拡大防止の取り組みをしながら、新しい生活様式での営業をしています。公共施設だからだめだということになるのかご所見を伺います。

答 6月1日から全面解除になって10日程経ち、一定の規制は市民皆さんにお願いしていますが、なお多少の時間をいただき近隣市の動向や国道の考え方などを参考に、市として判断したいと考えていますのでご理解いただきたいと思います。



市民プール（恵庭小学校）

その他の質問項目

・新型コロナウイルス感染症への対応、総合計画と協働のまちづくり



市民と歩む会 新岡 知恵 議員

学びの保障について

問 休業中の宿題の取り扱いは、各家庭に委ねる部分が大きく、家庭の状況により大きな差が生じていると聞きます。学校再開後の学習は、何よりも学習の定着が最大の目的と考えます。学校現場でのきめ細やかな指導が重要になると思いますが、具体的取り組みがあるか伺います。

答 小中学校の臨時休業が長期化し、児童生徒の個々の学習面や生活面の定着状況に個人差が出ていることも考えられることから、臨時休業中に出した宿題を回収し、点検することにより、児童生徒の状況に応じた指導を行って参りたいと考えています。

問 学習の遅れを取り戻すために、今回の補正予算でICT環境整備として、タブレット端末購入等の物的支援は手当てされましたが、教員の加配や学習指導員といった人的体制の整備が重要と考えます。ご所見を伺います。

答 本来行うべき授業が行われていないことに対する学びの保障は進

めて行かなければならず、今後各校と教員の加配、学習指導員の加配について協議しながら必要に応じ、予算要求していきたいと考えています。

問 少人数学級では非常事態に限った場合には、クラスの半分は学校で対面授業、残り半分は自宅で遠隔授業の対応が可能になると思われますが、ご所見を伺います。

答 全ての家庭でWiFi等の環境が整っている状況下では、有効的と考えますが、現在の状況の中では難しいものと考えます。



中学校でのICT教育

その他の質問項目

・新型コロナウイルス感染症防止策、市内の医療体制と体制整備



自民党惠義会 岩井利海 議員

児童クラブの現状と課題について

問 現在、7つの小学校区の内、3小学校区において36名の待機児童が発生しています。特に恵み野旭小学校では1年生が1学級増えた現状もあり、その解消に取り組むことになると思いますが、対応について伺います。

答 恵み野旭小学校区では現在17名が待機児童となっております。解消が急務と認識しています。現在、子どもひろばでのランドセル来館、または新規の児童クラブ開設について検討を開始しており、環境が整い次第実施したいと考えています。

問 子どもひろばでのランドセル来館に関しては、上位の規則や条例の範囲内にあるのか、また期間限定の応急的なものとなるのか伺います。

答 児童クラブのようなルールは設けず、おやつを提供も行わないため、児童クラブの条例、規則の範囲内ではなく、新たに要綱を作成し実施する予定としています。

応急的な取り組みであると認識しています。

問 応急的な取り組みで、また新たな要綱により期間限定の対応ということでしたが、新児童クラブの設置の見直しはあるのか端的にお伺いします。

答 現在36名の待機児童が発生となっており、解消に向けた新たな開設については、設置場所や支援員の確保など、委託法人との協議も必要であり、開設に向けた検討を進めて参りたいと考えています。



学童クラブ (恵み野旭小学校区)

その他の質問項目

・市の医療体制、出産前後の医療体制のあり方、防犯カメラの設置



自民党惠義会 南出典彦 議員

恵庭駅通の活性化について

問 恵庭駅通のこれまでの取り組み(検証)と今後について

答 恵庭駅周辺の取り組みは、平成23年度より駅前広場の再整備、公共駐輪場、空中歩廊の整備などによる交通結節機能の強化や、市街地再開発ビル「いざりえ」の整備による低未利用地の利用増進などが行われ、さらには、「旧緑と語らいの広場」において、平成29年度より民間活力を活用した公民複合施設「えにあす」の整備を行ったところです。

今後は、「えにあす」周辺を、恵庭駅周辺に続く「第二の拠点」として相応しい地区になるよう、旧市民活動センター、すみれ公園などを含め、地区全体の整備の方向性や考え方、民間活力の活用について、地域と検討を進めたいと考えています。

問 人口減少時代において、市街化区域の拡大は難しく、現区域内での事業展開が重要です。特に駅周辺の子どもの遊び場、親子やファミリーを利用対象とした公園緑地の整備は、まちづくりに不可欠と考えます。

旧市民活動センターが今後、駅通の活性化のための、次の事業展開の中心になることを期待するところですが、最後にご所見を伺います。

答 恵庭の将来のまちづくりは、これまでの取り組みを踏襲しながら、恵庭市のもつ地理的条件の優位性や豊かな自然、あるいは産業の集積などをさらに生かしていく工夫が必要だろうと思っています。

民間事業者が投資意欲の出るまち、市民が住みやすい、暮らしやすいと感じるようなまちへの方策などを、今後示しながら議論を重ねていきたいと考えています。



旧市民活動センターに隣接の「すみれ公園」

その他の質問項目

・新型コロナウイルス対策



自民党 恵義会 宮 利徳 議員

市内経済回復のための対策について

問 商品券事業は全市民に対し、1人当たり5千円または6千円の商品券を配布することです。どのような形で市民の手に届くのか配布方法について伺います。

答 基本的には引換券を送付して、世帯代表の方が引き換えて商品券を受け取る方向で進めており、参加店の登録や市民への十分な周知など、しっかりと準備し実施して参ります。

問 商品券事業を効果的に行うには利用率の向上が重要ですが、具体的な方策を考えていければ伺います。

答 多くの参加店の登録が事業の魅力向上につながると考えており、商工会議所など各機関とも連携しながら参加店を募集する予定です。さらに市民への周知に努め、工夫を凝らし利用率の向上を図って参ります。

問 新たな生活スタイルの対応により、以前と同じ売り上げや業績は見込めない事が予想されますが、この場合の対策を検討すべきだと思います

がご所見を伺います。

答 まず予算化された事業をしっかり推進し、検証を行い市内経済の動向や事業所の経営状況等に注視し、経済の回復に取り組んで参ります。

問 商工会議所などと連携してスタンプラリーを実施するといったことも有効と考えますがご所見を伺います。

答 商品券事業を実施することとしており、まずこの事業を着実に進め、更なる対策の在り方について見極めて参りたいと考えます。



小規模事業者事業継続支援金の申請

その他の質問項目

・ 農業の現状と課題、保育園・認定こども園での新型コロナウイルス対策



自由民主党 清和会 前田 孝雄 議員

働き方改革の推進について

問 生活困窮者に寄り添った早期特別申請件数は1,096件で、市総世帯数の僅か3.3割に過ぎません。この数値が伸びなかった要因をどう分析されているかご所見を伺います。

答 早期特別申請の実施は、広報誌の掲載に間に合わなかったことから、ホームページをはじめ、新聞・地域情報誌への掲載など、出来る限りの周知に努め、さらに郵送や窓口受付も行ったところ です。

問 5月22日の広報臨時号では定額給付金の申請書は5月27日に発送と明記されました。配達が遅い人では6日間も掛かっており、市民の遅いという実感は否めません。

6月12日現在のオンライン申請、早期特別申請者を含めた給付世帯数と給付率についてお伺いします。

答 6月12日現在の給付済み世帯数は、3,942世帯で、全世帯数に対する給付率は11.6割となっております。また、6月中に郵送により申請のあった世帯については、概ね3

週間程度で支給できるよう作業を進めています。

問 委託業者に任せて時間が掛かるのであれば、給付手続きの職員を増やしても早期給付を行うべきだと思います。全庁挙げて思い切った人員で給付支援チームを編成し、対応すべきと考えますがご所見を伺います。

答 6月8日からは全庁から職員を最大25名動員し、総勢約60名の人員体制で作業を行ったところ です。今後も必要な対策を取り、円滑な給付に努めて参りたいと考えます。



特別定額給付金の審査作業

その他の質問項目

・ 広報及び市民周知の在り方、災害時の感染防止を踏まえた避難所運営



自由民主党清和会 石井美季 議員

新型コロナウイルス感染拡大防止に関する児童生徒の状況について

問 学校は楽しいだけでは成立しません、楽しくなければ学校ではないと考えます。また、校内外の行事は不可欠だと思います。

答 現在の学校行事や他校との交流行事の実施方針について伺います。

問 現在、各学校で日程や実施の可否、実施方法について再検討しており、道教委からの通知内容に基づき、それぞれの教育的意義を踏まえ、各校長と日程や実施方法について検討して参ります。

問 学校行事や他校との交流は、さまざまな効果があると考えます。

答 学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、公共の精神を養い、自主的、実践的な態度を育てることなど、児童生徒の人間形成に重要な意義があると考えています。

問 マスクを忘れた場合、予備のマスクで対応とのことですが、各学校

にマスクの備蓄は十分にあるのか伺います。

答 多くの企業や団体から寄附をいただき、更にはPTAや地域の方々の手作りマスクも寄附いただいております、当面の備蓄としています。

問 児童生徒の感染防止拡大に係る市教育委員会及び学校独自の取り組みについて伺います

答 学校では手洗いの徹底や健康管理、3つの密を避けるなど感染症の予防とともに、体温や健康状態を確認できなかった児童生徒に対し、非接触型体温計による検温など、健康状態の把握を徹底しています。



再開した市内小学校（恵庭小学校）

ふるさと納税について

問 ふるさと納税（寄附金）を有効活用し、収支の改善に取り組んできたところですが、更なる促進に向けた取り組みについて伺います。

答 広く寄附を募ることを目的として、本年8月よりポータルサイトを2つ増設する予定であり、更なる寄附の動機付けに期待しているところです。併せて、魅力ある返礼品の拡充にも取り組んで参りたいと考えています。

問 ふるさと納税については、今回の新型コロナウイルスの影響は余り無いとのことですが、4月と5月に寄附額が伸びている要因について伺います。

答 新型コロナウイルス感染症対策に伴う外出自粛要請により、自宅ネットワーク情報を見る機会が増加し、その中で本市の返礼品に魅力を感じた方が寄附をされたことも一因ではないかと考えます。

問 多様な返礼品の拡充に取り組むたいとの事ですが、地場産品に活路を見出す取り組みについて、どのよ



自由民主党清和会 市川慎二 議員

うにお考えか伺います。

答 現在市内には、まだまだ魅力的な商品は数多くあります。

この度、ふるさと納税返礼品への活用について、食品製造会社及び飲料会社より話をいただいたことから、現在、返礼品の登録に向けた調整を図っているとあります。

このため、ふるさと納税ポータルサイトの増設時期に間に合うよう調整作業を進めたいと考えています。



ふるさと納税「お礼品カタログ」

その他の質問項目

・新型コロナウイルスの現状と対策、花の拠点整備



公明党議員団 生本 富士代 議員

公共交通エコバスの利用促進について

問 昨年のエコバスのダイヤ改編から1年が経過しました。市民ニーズへの対応について、現状と課題を伺います。

答 平成30年9月に行った利用者等アンケートにより、①恵み野駅西口・東口間のエコバス乗り継ぎ券の導入、②「恵み野南1丁目停留所」の新設、③スマートフォンでの定期券購入アプリの導入、④恵庭駅・恵み野駅自由通路のエコバス停留所案内表示板の設置を行ったところです。

問 利用者からは「道と川の駅」直売所かのなへの要望が多く、まちが変化する中で新しい事業が始まる場所に公共交通を乗り入れることは、利用市民にとっても望むところだと思えますが、ご所見を伺います。

答 ご提案の「道と川の駅」は、現在の路線と大変近接したところにありますので、頂いたご意見も参考にその乗り入れに関しては検討して参りたいと考えております。

問 花の拠点オープンすると誰もがガーデンエリアに足を運び癒されたいと思いますし、バスで行けるといけないのでは、市民のライフスタイル上でも影響があると思います。地域公共交通の重要性や必要性について、考えていただきたいと思いますが、ご所見を伺います。

答 市民ニーズにしっかり応えるような運行システムを作って行かなければいけないと思っています。しかしながら、一方では一定の費用もかかるわけであり、公共交通の運行については適切に対応して行きたいと思っています。



道と川の駅にある直売所「かのな」

その他の質問項目

・新型コロナウイルス感染防止対策



公明党議員団 松島 緑 議員

マイナンバーカードについて

問 定額給付金のオンライン申請は、申請が上手くいかず手続きが出来なかったという声がありますが、周知状況や問い合わせはどの程度あったか伺います。

答 申請開始直後にマイナポータルへのアクセスが集中したため、手続きが停止し、その後、入力方法がわからないなどの問い合わせを受けたところでした。また作業の内容は、国からも殆ど示されず担当職員が手続きの指導を行ったところです。

問 市民の皆さんが、マイナンバーカードを持つメリットについて、また市としてはどのようなメリットがあるのか伺います。

答 マイナンバーカードを持つと、住民票の写し、或いは印鑑登録証明、課税証明等のコンビニ交付が全国どこでも可能となり、休日や市役所の開庁時間にかかわらず早朝6時半〜23時までの交付は大変便利です。また市としては、マイナンバーカードを利用した電子申請などによって、行政窓口のワンストップ化

が将来的に期待できます。

問 マイナンバーカードは、令和3年3月より保険証としても活用できるということでしたが、具体的な内容が分ればお伺いします。

答 令和3年3月末から令和5年3月末までに、全ての医療機関に導入を予定しているということです。

これによって必要書類の簡略化や、医師による投薬の管理、健康管理等で医療の質が向上すると考えられています。



マイナンバーカードの申請窓口（市民課）

その他の質問項目

・子育て支援、教育における現状と課題



公明党議員団 野沢宏紀 議員

奨学金返還支援事業について

問 さつぽろ圏を対象とした「奨学金返還支援事業」の概要及びその事業に対する恵庭市の関わり方についてお伺いします。

答 本事業は、さつぽろ圏内の恵庭市を含めた7市3町1村の連携中枢都市を対象として、さつぽろ圏内に本社又は事業所を有し、そこで働くものを採用する中小企業等を応援する札幌市の事業です。

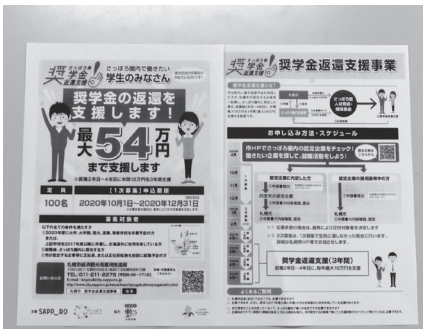
学生時代に貸与型の奨学金を利用した方が、札幌市が認定する企業等へ就職し、圏内に居住した場合に、就職後2年目から4年目の3年間にわたり、年間最大18万円を支援する制度であり、札幌市が半分の9万円を基金に積み立て、圏内企業等が半分の9万円を寄附することで、奨学金の返還を支援するものです。

この事業に対する恵庭市の関わり方につきましては、まずは事業の制度内容について、市内企業に周知を図るとともに、制度の理解と活用の促進と認定企業として登録していただけのように働きかけを行って参り

たいと考えています。

問 今後は市独自としての制度の検討も視野に、中小企業振興計画の中に位置づけ、市としても制度をしっかりと推進していくことが必要であると思いますが、ご所見を伺います。

答 今年度は市の人材確保計画と中小企業振興基本計画の改定期であり、この中で検討部会や専門部会、審議会などで議論をしていただき、この位置づけについて考えて参りたいと思います。



「奨学金返還支援事業」のリーフレット

その他の質問項目

・財政状況と今後の見通し、感染症流行期における災害対策、インフルエンザ予防接種の助成



民主・春風の会 澁谷敏明 議員

観光行政について

問 基本構想案を見ましたが、花のまちづくりの活動に関わっている方々の次世代の人材なども、緑化フェアの開催を契機に育成することも必要と考えますがご所見を伺います。

答 花のまちづくりに関係する各団体の方々に限らず、将来を担う子どもたちや市内各種団体など、多くの方々に関わっていただきたいと考えており、「サポーターズクラブ」という会議体を設けるなど、機運の醸成を図って参りたいと考えています。

問 緑化フェアは多くの方々に関わっていただくとの事ですが、このフェアの集客の対象は、市内・市外、主にどちらを想定されているのか伺います。

答 フェアにおける目標入場者数については、会場の規模、事業内容などを勘案し、今後策定する基本計画の中で設定することとしており、市内及び市外からの来場者も、その中で想定することとなります。

問 緑化フェアの開催に当たっては、一過性のイベントで終わらせるのではなく、後々にも影響を与える波及効果のある取り組みにしてほしいと考えますがご所見を伺います。

答 恵庭市には、花のまちづくり活動や「花とくらし展」の歴史が既にあり、緑化フェアの開催は花のまちづくりの一つの集大成として、市内外へ広く発信する場になると考えています。また、メイン会場も市民の憩いの場として長く愛される場所になるものと期待しており、知名度の向上や経済波及効果の拡大などにも期待しているところです。



緑化フェアのメイン会場「はなふる」

その他の質問項目

・新型コロナウイルス対策、地方創生